

## 【様式1】

団体名 <b>糸満市立潮平中学校</b>	連絡先 TEL：098-992-7575 Eメール：siocyu@shiohirac.city.itoman.okinawa.jp
-------------------------	--

### 1 実践事項（②）

タイトル：「『学びの自立』に向けた学習指導・授業改善の構築」

### 2 実践内容

- (1)学級や学年において支持的風土づくりの視点（安心・所属・承認・自立）を生かし、生徒の自己肯定感を高める取り組みを図る。【自己肯定感の高まり】
- (2)生徒の学習状況の見取りを適切に行い、指導と評価の一体化を図ることで生徒が学ぶ意義や価値を実感できる授業づくりに努める。【学び・育ちの実感】
- (3)校内研修による「一人一授業三参観」を通して、職員相互の指導法の工夫・改善や共有化を図り、生徒一人ひとりを支援するための共通実践を図る。【組織的な関わり】
- (4)生徒指導の視点（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を生かし、学習規律を整えた生徒が安心して学習できる環境づくりに努める。

### 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



資料1 支持的風土の醸成



資料2 対話的な活動



資料3 学び・育ちの実感



資料4 一人一授業三参観



資料5 学習評価の検討会



資料6 校内研修（自己肯定感）

### 4 成果

- (1)全職員が一人一授業三参観を実施し、各教科で授業後の研究会を行った。
- (2)沖縄県版児童生徒質問紙の調査結果を活用し、授業改善の視点（安心・所属・承認・自立）から生徒の実態把握と改善に向けた取組に努めることができた。
- (3)教科主任会による「学習評価に関する検討会」を行い、単元を通した目標、評価規準の具体的な内容、評価を行う際の注意点などについて何度も検討を重ねることができた。また、その内容を各教科会で話し合う機会をもつことができた。

### 5 課題

- (1)授業改善、学習評価のあり方について、全職員の協力のもとさらに継続して研修を進める必要がある。
- (2)全生徒に対して「安心して学校に登校できる居場所づくり」を進めるため、生徒の自己肯定感の高まりについて実態把握・分析をしながら、取組を継続する必要がある。
- (3)キャリア教育の視点から「学びの自立」を目指し、授業や学級活動においても自分の考えを述べたり相手の意見を尊重するといったアウトプットの機会を多く取り入れる必要がある。